

星を見る会

ねん がつ にち きんようび
2016年5月27日（金曜日）

さいせきせんちよくぜん かせい み
「**最接近直前の火星を見よう!**」

日が暮れるのがすっかり遅くなり、太陽の日差しも日々強さが感じられるようになりました。そろそろ梅雨入りとなり、しばし星空とはお別れになりますが、その前に国際宇宙ステーション（ISS）が相次いで見られるチャンスがやってきます。

人工衛星は自ら光ることなく反射して光ります。したがって、地上が暗くなった夜に人工衛星だけに光が差し込むとき、つまり日の出前の明け方と、日の入り後の夕方に見やすくなります。

日本では、実は今が最も人工衛星を観察するのに適した季節です。なぜなら、今は地球の北半球側に最も太陽の光が当たるため、北半球では人工衛星が地球の影に入りやすく、宇宙が昼となる条件が長く続くためです。5月下旬のISSの見え方は以下の通りです。

日時	明るさ	見え始め			最高通過点			終り		
	(等級)	時刻	高度	方位	時刻	高度	方位	時刻	高度	方位
5月27日	-2.7	19:44:02	10°	南南西	19:47:00	33°	南東	19:49:58	10°	東北東
5月27日	-0.7	21:20:52	10°	西	21:23:29	22°	北北西	21:26:06	10°	北北東
5月28日	-3.4	3:50:12	10°	北西	3:53:26	68°	南西	3:56:40	10°	南東
5月28日	-1.8	20:27:31	10°	西南西	20:30:37	39°	北西	20:33:42	10°	北北東
5月29日	-2.5	2:57:30	10°	北西	3:00:42	53°	北東	3:03:53	10°	東南東
5月29日	-3.3	19:34:34	10°	南西	19:37:49	83°	北西	19:41:05	10°	北東
5月30日	-1.2	2:05:01	10°	北北西	2:07:52	27°	北東	2:10:43	10°	東
5月30日	-2.2	3:41:33	10°	西北西	3:44:13	23°	南西	3:46:53	10°	南
5月31日	-3.3	2:51:37	52°	南西	2:51:37	52°	南西	2:54:45	10°	南南東
5月31日	-1.2	19:25:49	10°	西南西	19:28:47	32°	北西	19:31:47	10°	北北東

☆星空の地図：星図の見かた☆

星図は、あかるい星は大きく、くらい星は小さく書いてあります。東をむいて立つときは、図の「東」を下に、西をむいて立つときは「西」を下にしてもちましよう。星図の縁のまるい線が地平線、まるのまん中が頭の真上（天頂）です。

平塚市博物館

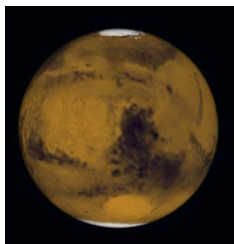
最接近直前の火星を見よう

火星が2年2ヶ月ぶりに接近しています。今回はマーズま~ずの中接近です！今日はさらに木星&土星&ISSも仲間に加わって、とってもにぎやかな空です。

♂火星

今日の明るさ：-2.0等

5月31日に地球へ最接近するため、とても明るく輝いています。一番遠いときに比べて距離は半分ほどになり、4倍ほど大きく見えます。ですから、望遠鏡でのぞくと、普段よりも細かい地形を確認することができます。今日は大シルチスという、



5月27日20時30分に見える火星の模様の様子

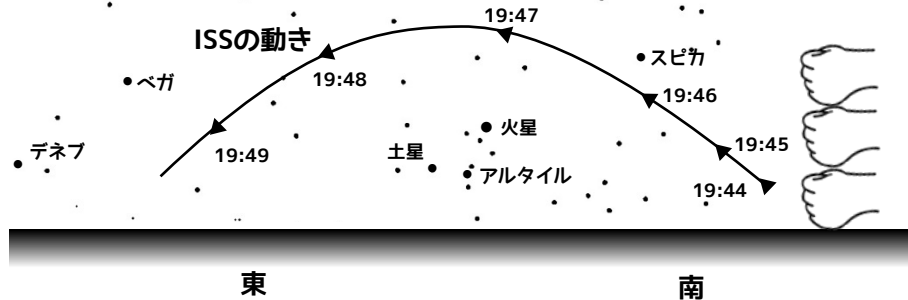
火星でもっと目立つ地形が見やすくなっています。また、今年の夏は火星と土星、さそり座のアンタレスが形作る小さな夏の三角形をみることができます。形が少しずつ変化していく、今年の夏限定の三角形です。



ISS

今日の最大の明るさ：-2.7等
 最高点の高度：33度

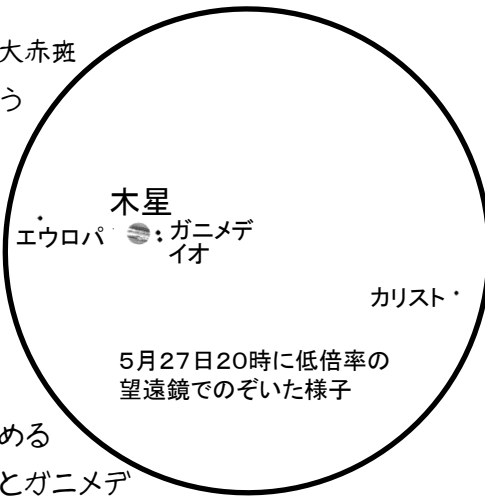
国際宇宙ステーション（ISS）には、現在6人の宇宙飛行士が滞在中で、毎日様々な工学実験や理学実験が行われています。昨日は、風船のように膨らむ膨張式モジュールのテストが行われましたが、残念ながらうまく膨らまなかったようです。来月24日には、日本の大西卓哉宇宙飛行士が宇宙へと旅立ちます。大西さんは船長の補佐官として4ヶ月滞在します。



♃木星

今日の明るさ：-2.1等

今日の一番星は木星です。今日は大赤斑という、地球が何個も入ってしまうくらい大きな台風を見ることができます。木星の周りにはたくさんの月があり、そのうち4つは特に明るく、発見した人の名前をとってガリレオ衛星と呼ばれています。しばらく観察していると衛星の配置が変わり、動きを確かめることができます。今日は特にイオとガニメデが近くに寄り添っているため、注目してみましょう。

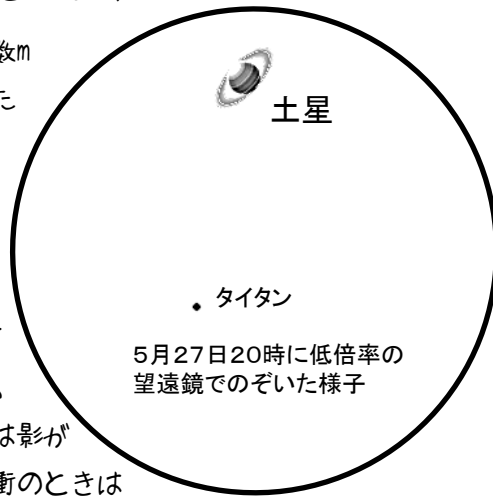


5月27日20時に低倍率の望遠鏡でのぞいた様子

♄土星

今日の明るさ：0.0等

美しい土星のわっかは、大きさが数mほどの氷や岩石がたくさん集まったもので、厚さはわずか数百mしかありません。いまの時期は、輪が最も傾いているため、空の条件がよいと輪のすきまも見えるかもしれませんが、真上から光が当たる衝のときは満月のようによく光を反射するので明るくなります。今日の土星の形



5月27日20時に低倍率の望遠鏡でのぞいた様子

☆☆5月の星空☆☆

○●5月の月・惑星●○

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

- 月: ● 新月 → 7日(土)
- 上弦 → 14日(土)
- 満月 → 22日(日)
- 下弦 → 29日(日)

惑星

水 星: 下旬の明け方、東の空低くに見える。

金 星: 太陽に近く見づらい。

火 星: ほぼ一晩中見られる。

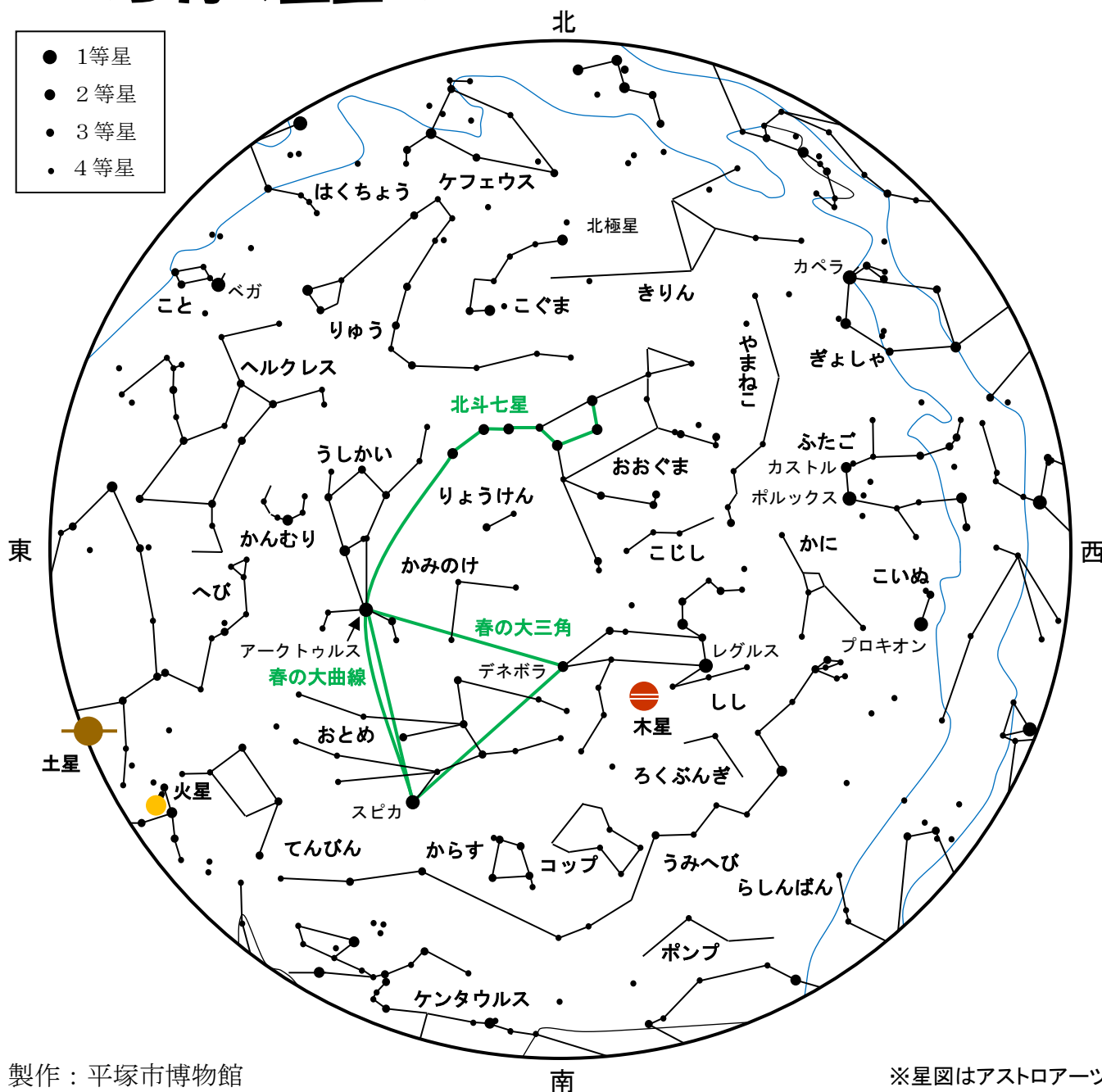
**31日に地球に最接近
観望好機**

木 星: 夜半過ぎまで南～西の空に見える。 **観望好機**

土 星: ほぼ一晩中見られる。 **観望好機**

天王星: 明け方の東の空低くに見える。肉眼ではほとんど見えない。

海王星: 夜半過ぎに東の空に見える。肉眼では見えない。



この星図は、
 5月 1日頃 21時頃
 5月 15日頃 20時頃
 5月 30日頃 19時頃
 の星空を示しています。

惑星は15日20時頃の位置です。